

平成28年第3回定例区議会

# 定例区議会活動報告 Activity Report

## 常任委員会



常任委員会では、区長提出議案8件(条例2件、契約2件、区道廃止1件、指定管理者3件)を審査しました。議案の審査経過等をご紹介します。  
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

### 企画総務委員会

議案4件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例」は、公職選挙法施行令の改正に伴い、千代田区議会議員及び区長の選挙における自動車の使用、ビラの作成及びポスター作成の公費負担限度額を引き上げるものです。公布の日から施行します。

#### 〈審査経過〉

質疑の中で、今回の改正は、全国の都道府県並びに市が、法に準じて条例で定めることによって公費負担ができることと規定されていることから、いずれの都道府県並びに市においても、同様の改正であること等が明らかになりました。

「特別区道の路線の廃止について」は、神田練堀町地区第一種市街地再開発事業に関わる都市計画決定などにより、特別区道千第702号及び第703号線を廃止するものです。

#### 〈審査経過〉

質疑の中で、都市計画法第16条及び第17条に基づく公聴会及び都市計画案の縦覧で、道路廃止に対する反対は無かったこと。当該2路線を廃止し、新たに公共広場整備を行い、更に広場から南北に延びる道路を整備することで、人が通り抜けできる動線を確保し、にぎわいにつながる流れを生むこと。再開発事業完了後も、タウンマネジメントと連携し、責任をもって維持管理を行うこと等が明らかになりました。

#### 〈討論〉

##### 【反対の意見】

今回の特別区道の路線の廃止は、神田練堀町地区第一種市街地再開発事業に伴っての廃止であり、この市街地再開発事業について、住民要望が出発点ではなかったこと。さらに、さまざまな都市計画の公共性に照らして、いくつもの疑問があることから反対する。(木村)

##### 【賛成の意見】

地域の方々が、長年いろいろと知恵を出し合っただけで積み上げ、そこに再開発事業が絡まっていると認識をしている。特段、地域の方から反対はないということで、公共広場と南北に延びる道を整備し、地域のにぎわいを創出することで、地域の皆さんにいろいろ還元できるだろうということで賛成をする。(嶋崎)

### 地域保健福祉委員会

議案4件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区障害者の意思疎通に関する条例」は、障害のある方々が生活を営む上で円滑に意思疎通を図ることができるよう、障害のある人もない人も相互に理解し暮らすことのできる共生社会の実現を目指すものです。

#### 〈審査経過〉

質疑の中で、区が今後個別に取り組んでいく事業などの中で、さまざまな支援を提供していき、区民の方への理解を深めていきたいと考えていること等が明らかになりました。

次に、「千代田区立図書館の指定管理者の指定について」は、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、指定管理者を指定するために議会の議決に付するものです。指定管理者候補者は「千代田ルネッサンスグループ」で、指定期間は平成29年4月から平成34年3月までの5年間です。

#### 〈討論〉

##### 【反対の意見】

公立図書館は文化の拠点として息の長い活動が求められる施設であり、継続性と熟練性が求められる。期間が限定される指定管理者制度はなじまないため、反対する。(飯島)

##### 【賛成の意見】

図書館5館の一体的運営の利点を生かした提案等が選定委員会で評価された。応募が1団体であったため、より一層の競争性確保に努めることを申し添え、賛成する。(大坂)

次に、「千代田区立九段生涯学習館の指定管理者の指定について」及び「千代田区立スポーツセンターの指定管理者の指定について」も、区立図書館と同様、指定管理者を指定するために議会の議決に付するものです。指定管理者候補者は「ミズグループ」で、指定期間は区立図書館と同様です。

#### 〈討論〉

##### 【反対の意見】

専門性と継続性が求められる施設職員の処遇や定着率について区が関与できず、期間が限定される指定管理者制度はなじまない。指定管理者の収益のための自主事業が多くなれば、利用者である区民にしわ寄せが出るので、反対する。(飯島)

##### 【賛成の意見】

今回の候補者選定では、3者から応募があり、適切な選定手続きが行われている。指定管理のあり方やモニタリングを今後の課題として挙げ、賛成する。(大坂)